

第8回市立中学校のあり方検討委員会 会議録（概要）

- 1 日時 令和5年5月31日（水）午前7時45分～午後4時40分
- 2 会場 湯沢学園、八海中学校、まつのやま学園
- 3 出席者
 - (1) 委員 18名 （終日参加10名、午前のみ5名、午後のみ3名）
 - (2) 事務局 6名 渡辺教育長、鈴木教育文化部長、玉村教育総務課長、細木学校教育課長、藤田指導管理主事、山岸教育総務課長補佐

4 現地での質疑、意見交換

| 発言者 | 発言概要 |
|-------------|--|
| ① 湯沢学園 | |
| 委員 湯沢町教委 | 子どもの成長に合わせた先生方の乗入れ授業の特長を教えてください。 昨年度は小学校職員で中学校の理科免許を持った職員が7年生の理科を受け持ったり、中学校職員で美術免許を持った職員が小学校5、6年生の図画工作を受け持つなど乗入れを行っていたが、今年度は職員構成が変わり実施していない。 |
| 委員 湯沢町教委 | 地域行事への参加が多いとのことだが、どんな行事に児童生徒は参加しているのか。また、その仕組みづくりはどう進めたのか。 コロナ禍で地域行事への参加ができなかったが、昨年度は町の行事に中学校の吹奏楽部が参加した。基本的に要請があればそこに出ていくような形である。 |
| 委員 湯沢町教委 | 小学校では、キャリア教育の一環として、三俣地区の祭りに3年生が全員参加している。三俣地区は児童数も少なく、祭りでの稚児行列で苦労していたが、今は湯沢学園の3年生が参加することで、他地区の保護者も観客とし来るので、祭りの盛り上がりにも効果があったと思う。 |
| 委員 湯沢町教委 | 中学校の学校支援ボランティアはどんな方がいらっしゃるのか。 ボランティアは学校運営協議会が主体となっている。現活動は学校側が日を決めてお願いしており、その日に合わせて活動してくださる。 また、以前運動会で実施していた伝統芸能がコロナ禍により種目から削られた。しかし、学校運営協議会の中で伝統文化の継承に取り組んでおり、地域交流センターのコーディネーターと相談しながら、復活させる方向で進んでいる。 |
| 委員 湯沢町教委 | この湯沢学園の取組により、湯沢町に住みたいという事例があれば教えてください。 冬だけ湯沢町に住む二拠点居住の子どもたちが増えている。湯沢町へ |

の移住は、町の移住施策によりじわじわと増えている感覚はある。

② 八海中学校

- 委員 3校が統合し、「八海中学校」となったわけだが、新しい学校の名前にしようとした経緯を教えてください。
- 南魚沼市教委 新しい統合なので、新しい校名、校歌にしようということは、最初から地域の方の意識にあった。どこかに吸収されるのではなく、新しい学校を作るというフラットな意識から生まれたものだと思う。
- 委員 統合した3校の中には12地区の協議会があるが、協議会同士で話し合いなどをしたのか、経緯を教えてください。
- 南魚沼市教委 平成23年に3校の小中PTA、学校評議員、後援会、区長からなる「教育を考える会」を設立した。その中で話し合いを続け、最終的に地域から統合を決めていただいた。地域で合意を得た結果を、教育委員会の統合方針に入れさせてもらった。
- 委員 統合に関するメリット、デメリットを考えたときに、PTAと地区協議会は考え方に違いがあると思うが、その差はどう埋めたのか。
- 南魚沼市教委 統合を決めてから統合まで5年間かかっており、この長い期間の中で協議を重ね、様々なやり取りがされたものと思う。
- 委員 統合の考え方を教育委員会が示し、地域に話し合いをお願いしたのか、それとも、地域が自ら話し合いを始めたのか教えてください。
- 南魚沼市教委 進め方としては、地域の方々にお集まりいただき、地域のまとめ役を決めさせてもらった。教育委員会も説明に伺うが、最終的には地域主体で地域の集まりの中で決めていただいている。
- 事務局 統合に合わせ、どのような施設改修をしたのか。
- 南魚沼市教委 施設改修については、統合が決まってから、統合協議会の中の建設部会で検討した。既存中学校を活用した施設計画案を作成したが、全ての要望が採用されたわけではない。
- 委員 南魚沼市には小学校の小規模特認校が2校あるが、何か設置の基準があるのか。
- 南魚沼市教委 小規模特認校は学区が市内全域で、送迎は保護者の責任で行うことになっているが、実際は市民バス等を利用してもらっている。
小規模の学校をどう残すか検討した結果であり、それに加えて、様々な理由で自分の学区も学校に行けない児童の受け皿としても考えている。

③ まつのやま学園

- 委員 雪里留学で6名の児童生徒が来られているとのことだが、保護者はどうされているのか。

まつのやま学園 2名については学区外で市内から来ている。4名については2家族で市外から保護者と一緒に学区内に転入してこられた。

委員 中学校の生徒数が少なくなっているが、小学校の児童数もかなり少なくなっていく。中学校の統合だけでなく小学校も考えなければならいのではないか。

事務局 今年度、雪里留学で6名の転入があったことから、小学校は何とか各学年単式学級とすることができた。来年以降は複式となる見込みであり、何らかの検討は必要である。

委員 中1ギャップはないが高1ギャップはあるのではないかということだが、どうやって情報を収集したのか。地域で子どもを育てるという観点では、中学校を卒業した子どもがどうなったか丁寧に情報を取ることが必要だと思う。

事務局 現在、高校に進学した子どもの情報を得ることは難しいところもあるが、情報収集に努めたい。

委員 保育園から中学校までずっと同じメンバーとなるが、いじめなどはないのか。

事務局 まわり子ども同士がフォローしあい、現状いじめはほとんどない。